

## 福祉部の使命・役割を教えてください！



- 福祉部は、地域福祉グループ（8人）、介護保険・障がいグループ（10人）、福祉まるごと相談グループ（10人）、生涯現役まちづくりグループ（3人）、保健福祉グループ（14人）の5グループで構成し、「地域福祉に関すること」「生活困窮者の自立支援に関すること」「介護保険に関すること」「障害者福祉・母子福祉に関すること」「福祉に関する相談及び支援の総合調整に関すること」「生涯現役のまちづくりに関すること」「認知症予防に関すること」「健康増進に関すること」「母子保健に関すること」「子どもの発達に関すること」「予防接種に関すること」などに取り組んでいます。
- 福祉部は、市民のみなさまの「ふだんのくらしをしあわせにする」ためのお手伝いをします。子どもの健やかな成長、そして、生涯にわたる生活の安定と福祉の向上をめざし、全ての世代の健康増進を図るとともに、高齢になっても、障がいがあっても尊厳を持って暮らし続けられるよう応援します。

## 平成29年度の成果・課題を教えてください！



- 介護保険は制度開始以来3年毎に見直しを行い、平成30年度からは第7期となります。市ではこれまでの取組みに加え、「みんな健康 まるごと家族 たかはま」を基本理念に、計画期間の3年間取り組んでまいります。
- また、子育て支援では、産後健診を従来の1回から2回実施へと拡充し、産後うつ発症の未然防止に努めるなど新たな施策を展開してまいります。

## 平成29年度の活動写真



▲スポーツ吹矢



▲健康自生地フェスタ（昭和の歌広場）

### 編集・発行

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成30年3月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度 高浜市では  
こんなことに力を入れて取り組んできました！

# 福祉部長の 実行宣言！



【今年度の振り返り&来年度のアクション(案)】



- 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。
- まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、5月に公表しました。



1年間の取組みを振り返り、成果・課題を今後につなげていくため、今年度の取組状況と、来年度のアクション(案)について紹介します。

# 平成29年度 福祉部では、こんなことに力を入れて取り組んできました！【今年度の取組成果・課題と来年度のアクション(案)】

## アクション 1

### 地域包括ケアシステムを構築するための計画づくりを行います！

【担当 介護保険・障がいグループ】

高齢者が、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるための仕組み（地域包括ケアシステム）が求められています。団塊の世代が75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向け、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化、推進していくための「地域包括ケア計画」を作ります。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 現行計画を評価、検証します。また、現状把握、将来推計を行い、今後の取組みや保険料などについて検討します。
- ◇ 市民説明会やパブリックコメントをとおして、市民の方からの意見を募ります。
- ◇ 第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を策定します。

2月完了

1月完了

3月完了

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ 当初の予定どおり、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の両計画を策定しました。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 計画内容を広報及びホームページに掲載し、市民のみなさんに周知します。 **4月までに実施**
- ◇ 計画に掲げた目標や施策が的確に実行されるように、計画の進捗管理を行います。 **平成31年3月までに実施**

## アクション 2

### 医療と介護の連携を推進します！

【担当 福祉まるごと相談グループ】

在宅で安心して暮らし続けることができるよう、医療と福祉関係者など多職種が連携して支える体制づくりが必要です。

新たにICTを活用した関係者間のネットワーク環境を構築し、医療と介護の連携強化を図ります。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 課題解決に向けた方策や情報共有を図るための連携協議会を開催し、ICTツール導入に向け検討を行います。
- ◇ ICT導入により医療と介護の連携を進め、多職種による情報共有の仕組みを作ります。
- ◇ 互いの役割や連携に対する手法について、研修会を通じて学び、顔の見える関係づくりを進めます。

6月完了

順調

順調

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ 「多職種連携による支援」に向けた取組みをスタートしました。今後は、導入したICTツールを活用して医療・介護の連携を推進していきます。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ ICTツール「えんjoyネット高浜」を一人でも多くの方に利用していただけるよう普及啓発に努めます。 **平成31年3月までに実施**
- ◇ 多職種の連携が図られるよう研修会を実施し、医療と介護の連携を強化・充実します。 **平成31年3月までに実施**

## アクション 3

### 生涯現役のまちづくりを進めます！

【担当 生涯現役まちづくりグループ】

自宅への閉じこもりは、認知症の発症や要介護状態に陥るリスクが急速に高まります。外出して地域の皆さんと交流し、健康に生活するため、ホコタッチを上手に活用しながら、健康自生地へ出かけて、さまざまな活動に参加したくなる仕組みづくりを行います。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 情報誌「でいでーる」で小学校区ごとに健康自生地を巡るモデルコースを紹介します。
- ◇ 担い手や利用者からのアンケートをもとに、健康自生地の魅力を向上させ、活性化を図ります。

順調

順調

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ でいでーるでのモデルコース紹介、各種健康自生地PRイベントなどを通し、外出促進に取り組みました。今後は、アンケート結果やスタンプラリー参加状況等を基に検討・抽出した健康自生地の魅力向上、活性化に向けた具体的な取組みを実施します。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 閉じこもりがちな高齢者の外出促進事業を実施します。 **6月までに実施**
- ◇ アンケートやスタンプラリーの分析結果を基に新たな取組みを検討し、実施します。 **平成31年3月までに実施**

## アクション 4

### 妊娠期からの切れ目のない支援を行います！

【担当 保健福祉グループ】

核家族化などにより、育児に不安や負担を感じる妊産婦さんが増えています。身近な場所でママの思いに寄り添い、ママやその家族を応援する人が必要です。いきいき広場は、妊娠期から子育て期におけるワンストップ拠点として、子育て家庭を応援します。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 産後健診のストレスチェック項目を活用し、出産を終えたママの心身の健康を支援します。
- ◇ 乳幼児健診のアンケートに質問項目を追加し、「切れ目のない支援」体制を推進します。

4月完了

6月完了

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ 平成29年12月までに300人の産後健診を実施しました。今後も産後を含めママ達の心身の健康を支えていきます。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 産後健診を1回から2回に拡充し、産後のママの健康支援と産後ケアの充実に努めます。 **4月までに実施**
- ◇ 現在実施している「質問項目を追加したアンケート」を継続し、アンケート結果を基に支援体制の充実を図ります。 **平成31年3月までに実施**